

## 第1回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和4年10月31日(月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎 3階 304・305 会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	向笠地区長 大藤地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校PTA代表 向笠小学校PTA代表 大藤小学校PTA代表 向笠幼稚園PTA代表 大藤こども園PTA代表 岩田こども園保護者代表
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

### 会議概要

#### 1 委嘱状交付

向陽学府小中一体校開校準備委員会委員を代表し、三浦様に委嘱状を交付。

その他の委員については、個別に配布。

#### 2 教育長挨拶

わたくし自身、平成30年度に各地区の交流センター等で向陽学府小中一体校の方向性について説明させていただき、地域の皆様に御理解をいただいていたという経緯があります。先日基本設計の概要「かわら版」を配布させていただいたが、地域の皆様に御理解と御協力をいただいた賜物だと思っています。ありがとうございます。

令和8年度の開校に向けて、これから、開校準備委員会をスタートさせていきます。今後は、ながふじ学府には無かった、校名や校章、校歌などの検討があります。これまで同様、皆様の総意で進めていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

#### 3 委員長、副委員長の互選

委員長には、これまでに校長を務め、さらには昨年まで向笠地区長を務め、学校、地域にも精通している三浦靖男様、副委員長には、建設検討会でも副委員長を務め現

在、向陽中学校校長の榛葉公浩様が選任された。

#### 4 議事

##### (1) 開校準備スケジュールについて

スケジュール表を基に事務局が説明した。

##### (事務局)

- ①開校準備委員会は、令和4年度は、3月まで毎月計画したが、話合いの状況によっては、回数が減る。令和5年度以降も年6回計画しているが、減ることも考えられる。皆様の貴重な意見を聞きながら慎重に進めていきたい。校名が決まらなると校歌も校章も決められないことから、校名の検討から始めていく。
- ②校名の検討については、本日から決め方の検討を始める。令和5年度中の校名決定までのスケジュールを立てることが令和4年度の目標となる。
- ③校章、校歌については、校名が決まってからとなるが決め方の検討は、校名の検討と並行して進めていく。
- ④通学路に関することについては、現在、推進室と学校で仮の通学路を検討している。これを基に各学校の保護者に検討してもらい意見を伺っていく。来年度にはその通学路を基に通学路点検を行い、規制要望等についてまとめ、道路河川課を通じて警察に要望書を提出する。
- ⑤PTAの組織運営に関することについては、4校のPTAが主体となって検討する。
- ⑥式典行事に関することについては、閉校行事については、各地域主体で検討を始めていると聞いている。開校式については、令和6年度以降検討する。
- ⑦スクールバスの運行については、各地区で該当自治会に児童生徒の乗降所の検討をお願いしている。運行経路は、来年度より現在の委託業者と協議を重ねていく。
- ⑧制服、体育衣料の検討は、学校とPTAが主体となる。
- ⑨学校経営や学校運営に関することは、すでに学校が動いている。
- ⑩地域連携室と福祉交流支援室の運用に関することは、学校中心にこれまでに話し合ってきたことで実現できそうなことを具体的に検討していく。

##### ○スケジュールに関する委員からの質問、意見

###### 【通学路に関すること】

- ・保護者が通学路を検討するということだが、スクールバスが走行する道路も通学路となり、それも保護者が検討するのか。

##### → (事務局)

スクールバスの運行ルートは、委託業者と一体校推進室で決めていく。決めたルートは、最終的に保護者にも諮っていく。

### 【PTA の組織運営に関すること】

- ・PTA に関しての会議の持ち方は、どうしていけばよいのか。この準備委員会でやっていくのか、PTA 主体で別に時間を設けてやっていくのか。それによってスケジュールが変わってくる。令和6年度までに組織を決め、令和7年度に選考となる。
- (事務局)

他の自治体をみてもほとんど、PTA 同士で話をしている。準備委員会の中に PTA 部会を設けて PTA の皆様が集まって話をしているところがほとんどになる。ただ、準備委員会で検討したい事項があれば、意見を挙げていただきこの会で協議をすることは可能だと思う。

### 【体育衣料、制服に関すること】

- ・体育衣料、制服についても別組織でやっていくのか。
- (事務局)

ながふじ学府を例にすると、PTA から声がかかって3校の PTA 役員中心に検討委員会を立ち上げ、開校2年前くらいから話を進めてきた。向陽学府も同様に進めてほしいと思っている。これについても諮りたい事項があれば、準備委員会の議題に挙げていただき検討していくことは可能である。

- ・ながふじ学府は小学校も制服なのか。
- (事務局)

中学生と同じ制服を着用している。ただし、移行期間を設けている。小学校1年生は、豊田北部小も豊田東小も新しい制服を着て入学式を行っている。あくまでもながふじ学府の例であるので、向陽学府は、小学生に制服が必要かという話から進めてもらいたい。

- ・中学も制服は検討するということか。
- (事務局)

一体校になることを契機に小中9年間という視点で、制服の検討を行ってもらいたいと思っている。いわゆる LGBTQ に対応できる制服という視点でも検討してもらいたい。

### 【学校経営、学校運営に関すること】

- ・校則の話は、どこかで話をするところがあるのか。
- (事務局)

校訓を含め、学校運営に関することは、校長先生方にお願ひし、学校中心に検討している。小学校は3校あって学校の決まりもそれぞれあると思うので、現在のものをすり合わせて開校までに検討していく。

- ・小中共通のルールも欲しくなってくると思うが考えてもらいたい。

→ (副委員長)

今、4校ですり合わせをしている。学校のきまりやしおりのようなものが完成したら皆さんにも見ていただきたいと思っている。

【その他】

・各小学校が指定避難所になっているが、避難場所のことはこの委員会で話し合うことか。

→ (事務局)

防災関係のことは、これまでもお話をいただいている。避難所が閉校後どうなるかについては、危機管理課、地域づくり応援課で話を進める。

(委員長)

教育委員会として、まとまったことを示してもらえるのか。

→ (事務局)

担当課をこの会にお呼びして説明をすることは可能だと思う。

・地域防災訓練について、向陽ブロック地域防災訓練というイメージになっていくのか。避難の話、避難所開設の話は、すべて向陽ブロックということで話を進めていくのか気になっている。

・防災の検討会を開いてもらいたい。

・跡地利用については考えているのか。各地域で委員を募って跡地利用委員会を立ち上げるような形で地域を巻き込んでほしい。

→ (事務局)

避難所と跡地利用はセットで考えていくということでいいと思うが、跡地利用は危機管理課と資産経営課が考えていくことになる。形には見えてこないが、課としては話をしていると思う。まだ皆様にお知らせできる情報がこちらまできていない。

→ (教育長)

学校づくりと地域づくりは連携している。担当課に伝えながら跡地利用については、地元の声を聞きながら進めていくように伝えていく。

## (2) 校名の選定方法と決定について

校名の選定方法と決定までの流れについて事務局が説明した。

(事務局)

事務局が提案した選定方法は以下の2案。

【A案】校名案を提示しアンケートを取る方法

①開校準備委員会でいくつかの校名案を提示する。

②児童生徒、保護者、地域にアンケートをとり、その結果を基に再度準備委員会で

話し合い校名をしぼる。

**【B案】公募**

①公募で広く校名を募集する。

②その結果を基に開校準備委員会で話し合い、校名をしぼる。

A案、B案ともに準備委員会で協議し、選定した案を教育委員会に報告し、承認後、市議会議決により最終決定する。

**【校名選定に関する意見、質問】**

・B案がいいと思う。地域に開かれた、地域を巻き込んでということから考えると広く地域の人の意見を聞いていくのがよい。

・中学校の名前が変わらず、小学校の名前だけが変わるとするのはどういうことか。

→（委員長）

磐田市教育委員会が示す新たな学校づくりについては、いずれも小学校と中学校が存在している。向陽学府は、未来型学府一体校である。小中一つにしてしまうことはない。

→（教育長）

磐田市は、小中一貫教育をよい環境でやっていきたいと思いますということで3パターンの学府一体校を進めてきた。義務教育学校ではなくて、同じ敷地内に小学校と中学校があって小中一貫教育をより良い環境の中で進めていく流れとなっている。スタート時点が義務教育学校でないことを御理解いただきたい。

・向陽中という名前を変えて、小中学校同じ名前にすることは可能か。

→（教育長）

条例改正が必要となる。

→（委員長）

条例を変えることによって学校名を変えることができる。ただ、前提としてみんなを変えようという雰囲気ができるかどうか、それが現実的かどうか、向陽という70年余りの歴史が別名に変わるというのは、大きなハードルとなるのではないか。

※委員の皆様は、学府一体校の認識が様々で、小学校の校名選定方法を決められなかった。第2回開校準備委員会での継続協議事項とした。